

ルミガンを使用した場合によくみられる副作用

- ルミガンは緑内障患者様の治療に使用する点眼薬です。緑内障点眼薬として使用した場合に、結膜の充血は約 46%、目のかゆみは約 9%の患者様から報告されています。
 - ルミガンを睫毛部分に塗布した場合にみられる副作用は、結膜の発赤や充血・眼のかゆみです。その他に、塗布した付近の皮膚や眼に、眼の周りの色素沈着、虹彩の色素沈着、眼刺激、眼乾燥、眼瞼の発赤、角膜びらん、結膜炎などが生じることがあります。
 - 眼に何らかの症状や疾患(外傷や感染症など)が生じたり、何らかの眼や眼瞼の反応を来したり、視力が急に低下したり、した場合は、ルミガンの使用を中止しすぐに担当医師にご相談ください。
 - 眼科手術を受けられる場合は、ルミガンの使用を中止し、担当の眼科医師にご相談ください。
- ※ **ルミガンの処方を受けるにあたり、医師から上記事項について十分な説明を受け、使用方法や副作用などの内容について十分にご理解し、これを使用させていただきようお願いたします。**
- ※ その他、ご希望、ご質問がありましたらお書き下さい。

私は、医師からの説明を十分に理解し上記の内容について確認し、ルミガンの処方を受けることに同意いたします。

平成 年 月 日

(住所) _____

(自筆サイン) _____

ルミガン使用時の注意事項

- ・ 化粧はすべて落とし、きれいに洗顔し、コンタクトレンズははずしてください。
- ・ ルミガンが目に入っても害にはなりません。目を洗う必要はありません。
- ・ 下まつげのラインには使用しないで下さい。(色素沈着する恐れがあります)
- ・ コンタクトレンズを装着する場合には、ルミガン使用后 30 分以上経ってから装着してください。

- ・ ルミガンは必ずアプリケーターを用いて塗布し、1 日 1 回の使用としてください。
- ・ ルミガンの 1 日の使用回数をふやしても、まつげの成長は促進されません。
- ・ ルミガンの使用を中止すれば、まつげの成長は使用前の状態に戻ります。
- ・ アプリケーターの再利用は重篤な感染症を引き起こす可能性がありますのでおやめください。

- ・ 眼に炎症がある方は炎症が増悪する可能性があるため、使用をお控えください。
- ・ 眼圧降下剤を使用している方は、必ず担当医と相談してからルミガンを使用してください。
- ・ 眼科にかかっている方は、必ずかかりつけの医師とご相談の上、ご使用ください。

- ・ 稀にまぶたの皮膚が黒ずむことがあります。(これは回復可能なものですのでご安心ください)
- ・ 眼の虹彩に色素沈着することがあります。(これは回復不可能な可能性があります)
- ・ ルミガンがまつげ以外に繰り返し接触すると、その部分の毛が成長する可能性があります。

==== はみ出た余分な液はふき取ってください =====